**1月27日Ｖ・チャレンジリーグⅠ**

**対戦相手　大分三好ヴァイセアドラー**

**スタートメンバー　中川、岩井、横田、新、浅野、岡村**

**リベロ芳賀**

**リーグ15戦目は大分三好ヴァイセアドラーとの対戦。**

**1セット目、富士通は浅野のサーブから連続得点を重ね最高のスタートを切る。しかし、大分三好もサーブで揺さぶりをかけて追い付かれるとそこからは一進一退の攻防となる。それでも中盤から終盤にかけてキャプテン中川のスパイクが決まり続けリードを広げ25-17で1セット目を奪う。**

**2セット目、富士通は過去2戦で2セット目をすべて奪われており、このセットを奪うため攻撃的にいくことを確認して試合に入る。序盤は1セット目同様、拮抗した展開となる。大分が一歩リードしても富士通は粘り強く追い付くという試合が終盤まで続く。しかし18-19の場面から痛恨の6連続失点。18-25で2セット目を奪われる。**

**3セット目、序盤から富士通のサーブが効果を発揮する。サーブで相手を崩し、新や岩井がブロックを決めリードする。しかしまたもや6連続失点を喫し逆転を許してしまう。それでも富士通はあきらめない。中川がスパイクでチームを鼓舞すると、リリーフサーバーの後藤がサービスエースで富士通優位に。ここから大分は外国人エースにボールを集め続けデュースとなる。富士通は芳賀を中心とした粘りのバレーから岩井と横田のスパイクが決まり、試合は30点を越える大熱戦となるが、最後は新のサービスエースで31-29となり士通がこのセットを奪う。**

**4セット目、このまま勝利したい富士通だが、お互いに連続得点を奪い合うゲーム展開となる。中盤までは流れがいったりきたりでリードしても逆転される状況となる。終盤、18-23のビハインドから新の勝負強いサーブと岩井のスパイクで同点に追い付き、そこからまたもやデュースとなる。岩井、中川の攻撃で対抗するものの、最後は相手にブロックされ26-28でフルセットにもつれ込む。**

**勝負の5セット目。富士通は1-5とリードされ厳しい展開となる。その後も大分ペースで試合は進み、9-13と絶体絶命の状況となる。しかし、キャプテン中川のサーブから新、岡村が連続ブロックを決めると中川のサービスエースでついに同点に追いつく。またもやデュースとなった試合は、中川がバックアタックを決め続け、横田の起死回生のブロックでリードし、最後は岩井のサーブで相手を崩し、　中川がスパイクを決め20-18で富士通が大熱戦に勝利した。**